



連続立体交差費補助

札幌圏都市計画都市高速鉄道事業

北海道旅客鉄道株式会社札幌線(2)

JR札幌線(篠路駅付近)連続立体交差事業

第27回 札幌市公共事業評価検討委員会

札幌市建設局土木部

篠路駅周辺地区の位置づけ



「篠路」は札幌市まちづくり戦略ビジョン（H25年度策定）にて地域の生活を支える重要な拠点である「**地域交流拠点**」として位置づけ

地域の課題

- 1) 鉄道による東西市街地の分断
- 2) 横新道の慢性的な渋滞
- 3) 歩行者ネットワークの未整備
- 4) 駅施設のバリアフリー未整備
- 5) 篠路駅の交通結節点としての機能不足
- 6) 駅東側市街地の脆弱な社会基盤施設

篠路駅周辺地区まちづくり実施計画（H25年度策定）
篠路駅周辺地区まちづくり計画（R4年度策定）

篠路駅付近の鉄道高架化

篠路駅東口土地区画整理

駅周辺道路整備



篠路人道地下歩道
（篠路駅前団地本通）

バリアフリー未整備

篠路駅（東口）

バリアフリー未整備

札幌篠路線踏切（横新道）

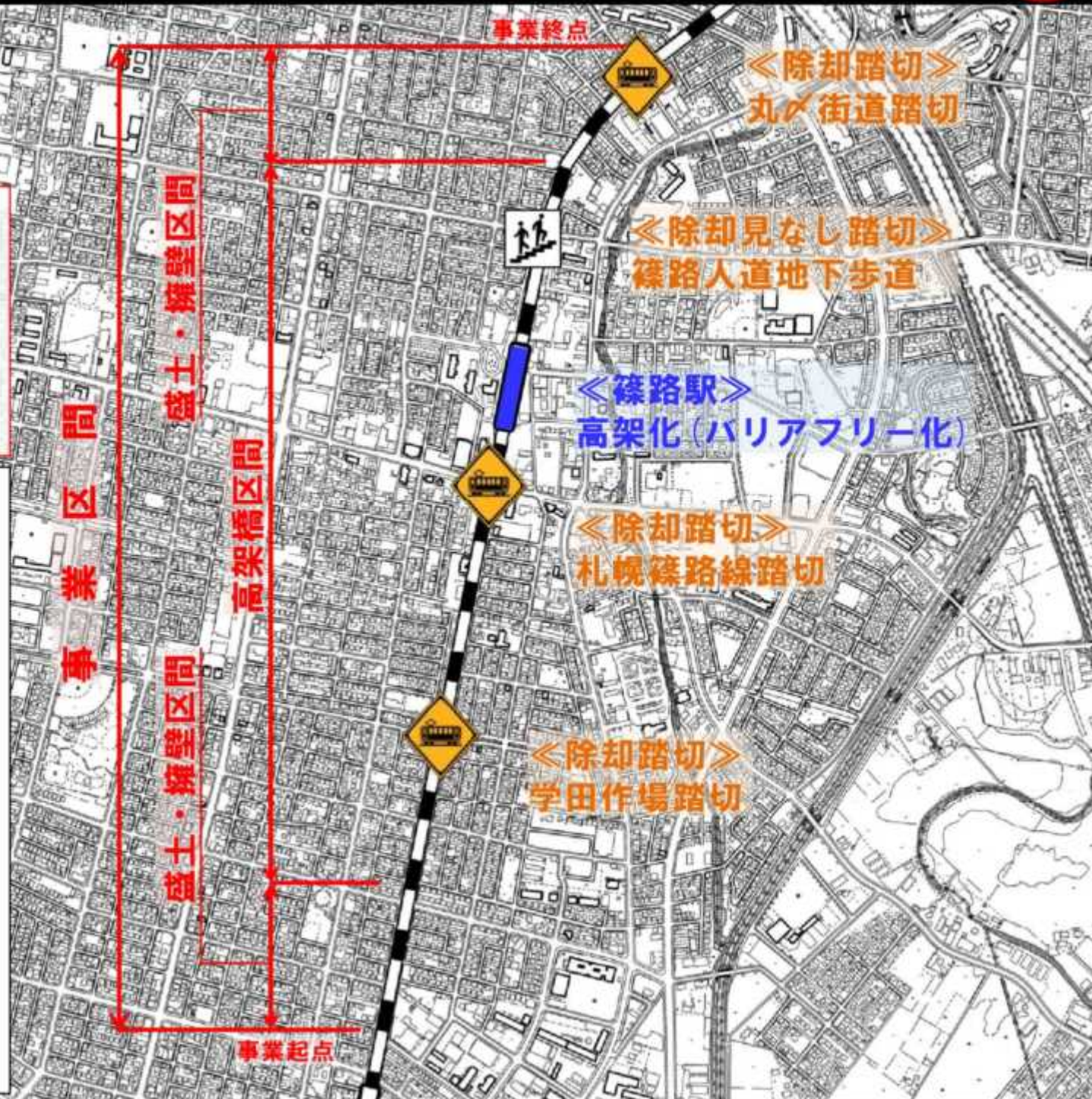
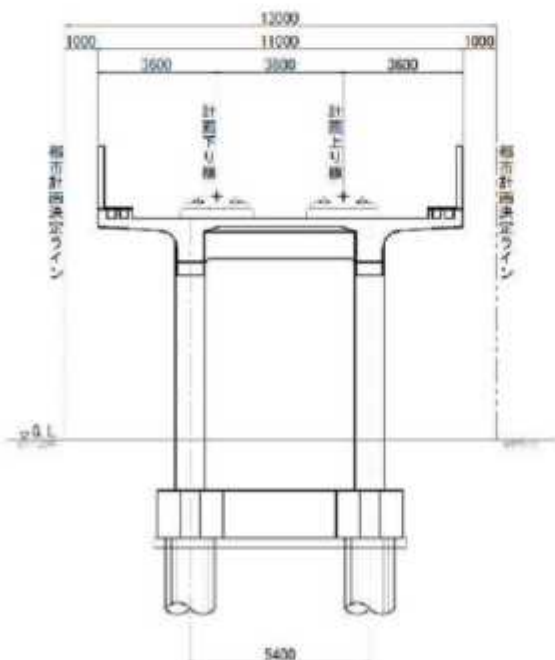
横新道の慢性的な渋滞状況

整備概要(鉄道高架)



事業区間 : 約 2.1 km
高架化区間 : 約 1.7 km
事業期間 : 令和 2 年度～令和 13 年度
構造形式 : 高架式
駅 施 設 : 篠路駅
除却踏切 : 4 箇所
(うち見なし踏切 1 箇所)

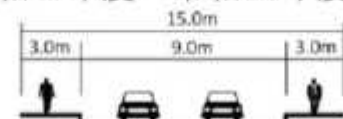
高架橋標準断面図
(2柱式ラーメン高架橋)



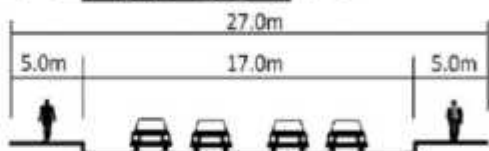
整備概要(関連道路)

□都市計画道路3・4・71号 横新道

- ・整備内容：車線拡幅（2車線→4車線）
- ・整備延長：約800m
- ・事業期間：令和2年度～令和13年度
- ・（現況断面）



(計画断面)

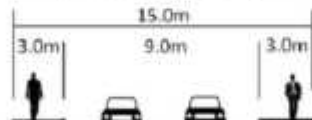


□都市計画道路7・5・42号 篠路駅前団地本通

- ・整備内容：線形改良
- ・整備延長：約600m
- ・事業期間：令和8年度～令和13年度（予定）
- ・（現況断面）



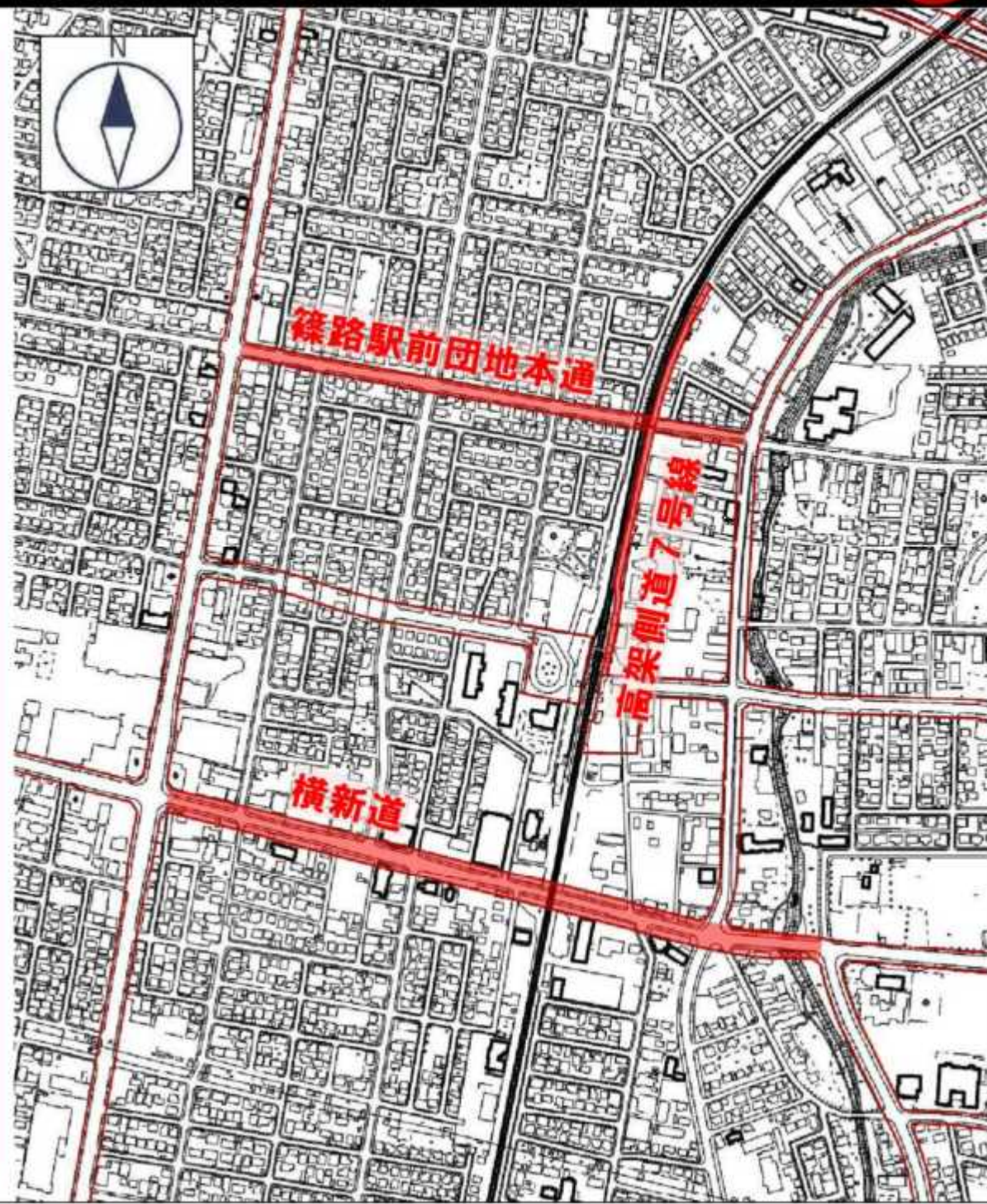
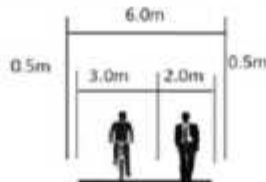
(計画断面)

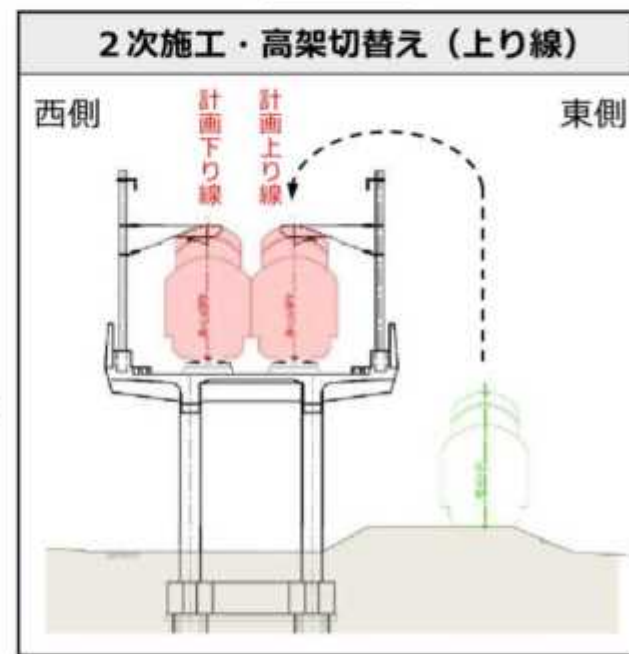
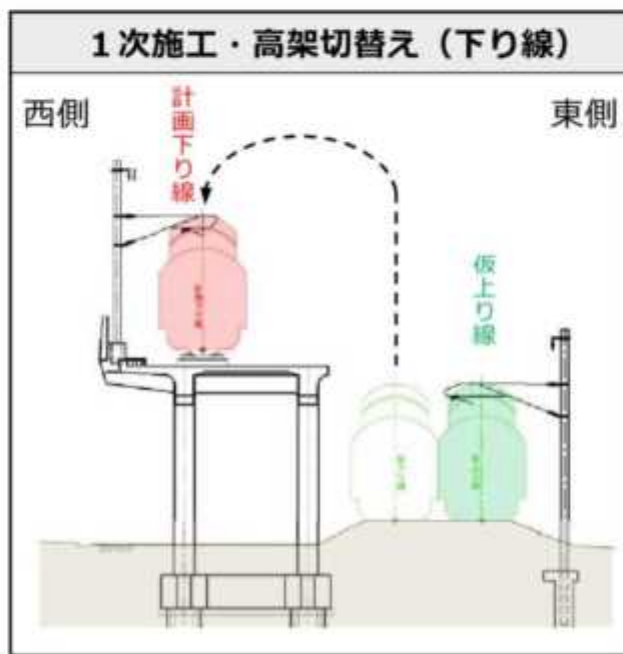
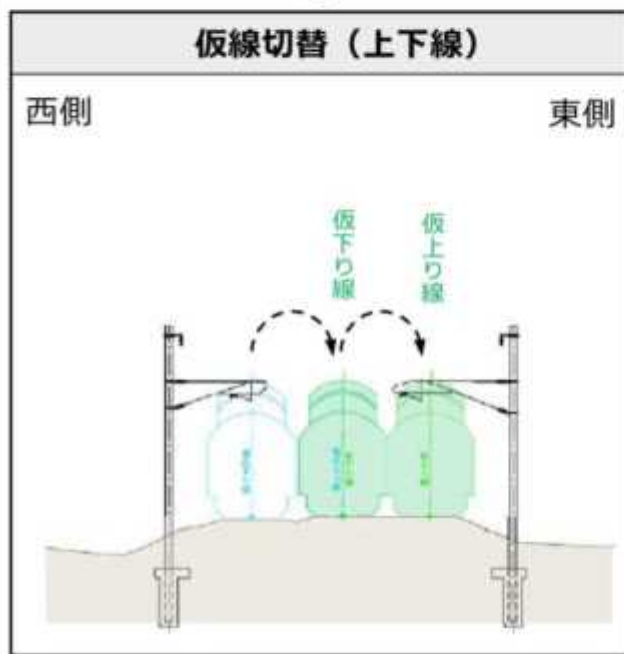
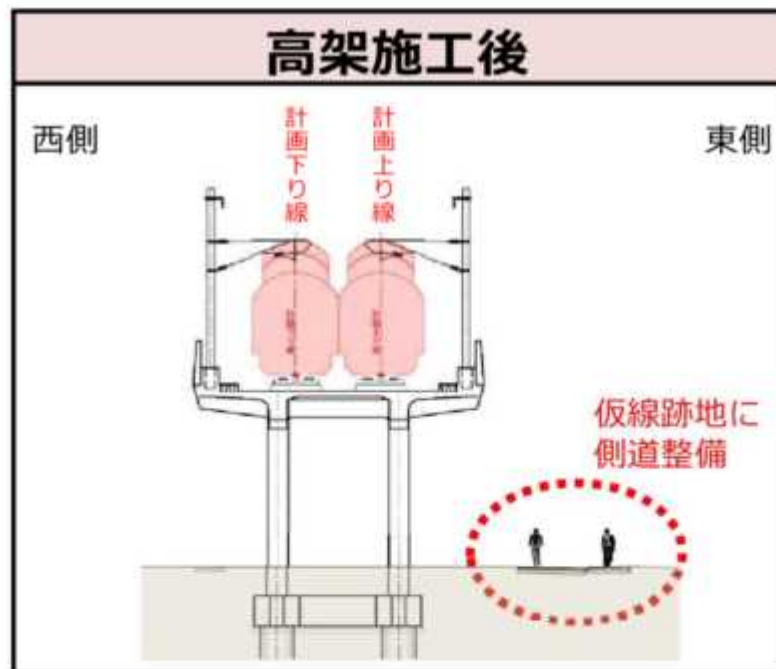
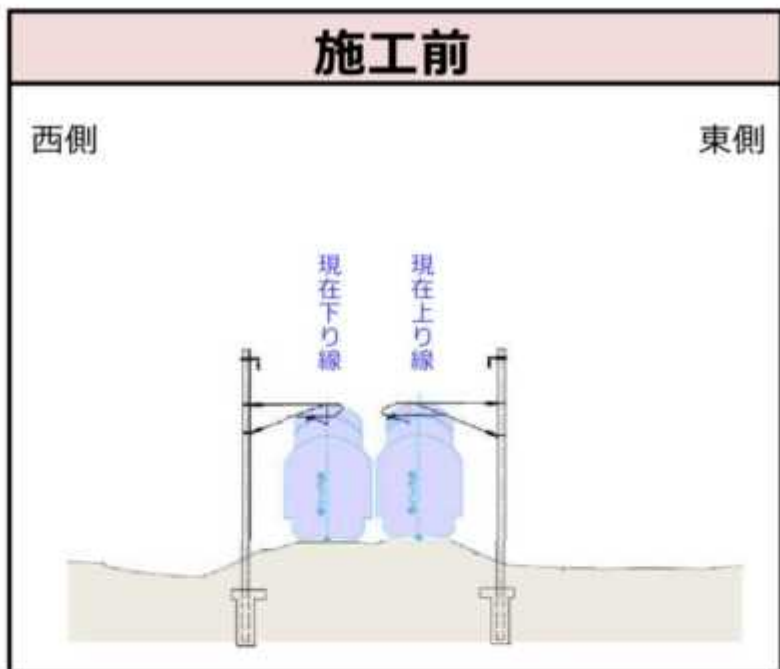


□都市計画道路8・7・39号 高架側道7号線

- ・整備内容：新設（自転車歩行者専用道路）
- ・整備延長：約430m
- ・事業期間：令和2年度～令和13年度
- ※連続立体交差事業の認可に含む

・（計画断面）



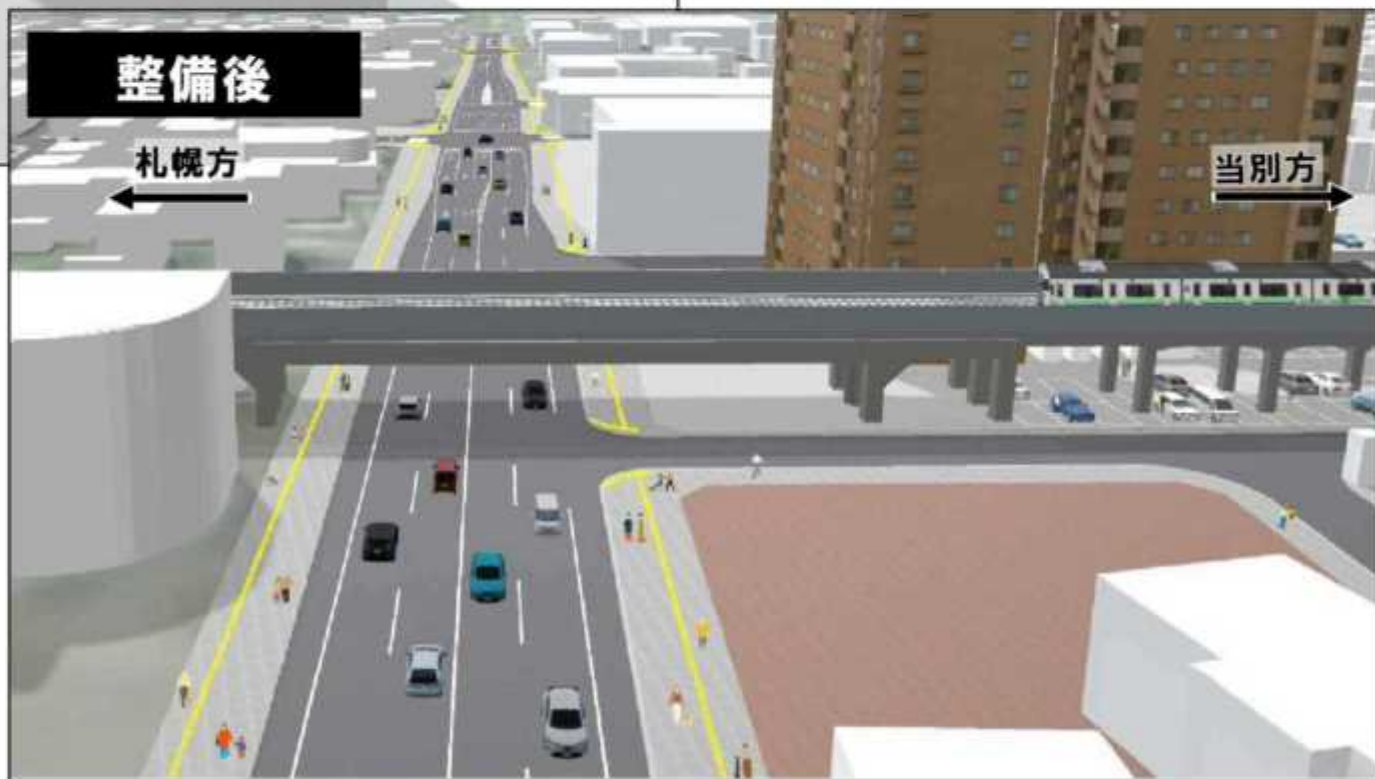


整備パース(駅舎部)



整備パース(横新道との鉄道交差点部)

7



「費用便益分析マニュアル<連続立体交差事業編> (R4.2)」
に基づき**便益** (Benefit) と**費用** (Cost) により事業を評価

鉄道高架化による踏切除却及び
関連道路整備による混雑緩和等の事業効果

➡ **便益**として算出

事業費 (鉄道高架・関連道路) と維持管理費

➡ **費用**として算出



分析条件

- ①道央都市圏の交通ネットワークを対象
- ②平成42年(令和12年)の推計交通量を基準とする

「費用便益分析マニュアル<連続立体交差事業編> (R4.2)」
に基づく**総便益 (B)** と**総費用 (C)** による算出

1. 走行時間短縮便益	177.7億円
2. 走行経費減少便益	17.0億円
3. 交通事故減少便益	1.8億円
<hr/>	
総便益	196.5億円

**B**

1. 事業費(鉄道高架※)	142.3億円
2. 事業費(関連道路)	42.3億円
3. 維持管理費(整備後50年)	0.4億円
<hr/>	
総費用	185.0億円

**C**

※鉄道事業者が負担する事業費を除いた費用

$$B/C = 196.5\text{億円} / 185.0\text{億円} = 1.06$$

連続立体交差事業により生じる効果(その他便益)

- **鉄道横断等（歩行者）に関する効果**
 - 踏切待ち解消による歩行快適性の向上
 - 新たな東西横断箇所（駅舎や道路）による時間短縮
 - バリアフリー化等による上下移動改善
- **高架下利用に関する効果**
 - 高架化による高架下空間の創出
- **市街地の発展・まちづくりに関する効果**
 - 市街地分断の解消
 - 地価上昇や人口分布等の土地利用・市街地構造変化
- **環境に関する効果**
 - 渋滞緩和等によるCO₂・NO_x等の発生の解消
- **安全な市街地の形成に関する効果**
 - 緊急車両のアクセシビリティ向上

鉄道を高架化することで複数の踏切を除却することにより、都市内交通の円滑化を図るとともに、安全・安心のまちづくりや分断された市街地の一体化による都市の活性化が図られるなど、高い事業効果が見込まれることから**事業継続**とする。